

# 砂防の観測の現場を訪ねて 1

～土砂災害を知るための観測～

編集：公益社団法人砂防学会 出版プロジェクト委員会

発行：公益社団法人砂防学会

砂防の  
観測の現場を  
訪ねて 1  
土砂災害を  
知るための観測



いまだに土砂災害は多く発生しています。解決  
土砂移動現象は未解明の部分が多く、解決  
すべき課題が数多くあるためです。この先、土砂災害を減らし、やがてはな  
くすためには、こつこつと地道な現地調査や観測により、これら課題を解決す  
る必要があります。ぜひ、本書を手にとって「砂防」の観測の現場を訪ねに行きま  
しょう。

公益社団法人 砂防学会

定価

2,200円

(税込み)

土砂移動現象には未解明の部分が多く、解決すべき課題が数多くあるため、なかなか土砂災害がなくなりません。この先、土砂災害を減らし、やがてはななくすためには、こつこつと地道な現地調査や観測により、これら課題を解決する必要があります。

ぜひ、本書を手にとって「砂防」の観測の現場を訪ねに行きましょう。

出版プロジェクト委員会

## 第1編 土砂災害がどのようにして発生したかを知るために観測する

- 第1章 1993年鹿児島県土石流災害  
＜シラス台地周辺の大規模な土砂災害はどのようにしておこるのか？＞
- 第2章 1999年広島県土石流災害  
＜同時多発する表層崩壊はどのようにしておこるのか？＞
- 第3章 1999年以降の三重県藤原岳の土石流  
＜1つの場所で何度も発生する土石流はどのようにしておこるのか？＞
- 第4章 2005年宮崎県の土砂災害  
＜深層崩壊による土砂災害はどのようにしておこるのか？＞
- 第5章 2013年伊豆大島土石流災害  
＜火山地域の表層崩壊による土砂災害はどのようにしておこるのか？＞

## 第2編 被害の拡大を防ぐために観測する

- 第6章 1990年雲仙普賢岳の噴火  
＜土石流や溶岩ドーム崩落による被害を防ぐために＞
- 第7章 2000年三宅島の噴火  
＜早期緑化・復興のために＞
- 第8章 2008年岩手・宮城内陸地震  
＜融雪に起因した土砂災害の減災を目指して＞

## 第3編 土砂災害の発生を予測するために観測する

- 第9章 土石流の発生・流下を予測する  
＜不安定土砂の蓄積状況から土石流を考える＞
- 第10章 表層崩壊の発生を予測する  
＜地中の脆弱層を把握する＞
- 第11章 斜面崩壊の発生を予測する  
＜世界文化遺産を守る＞
- 第12章 深層崩壊の発生を予測する  
＜地下水の集中箇所を把握する＞

## 申込方法

1. 必要事項（氏名、所属、送付先住所、メールアドレス、購入部数、領収書の要否と宛名）を記入の上、下記メールアドレスへお申し込みください。
2. メール送信後、下記にお振込をお願いします。
3. 振込確認後、順次発送いたします。

申込みアドレス：[sabo-book@jsece.or.jp](mailto:sabo-book@jsece.or.jp)



郵送料は  
1冊310円  
2冊360円

振込先：**みずほ銀行麹町支店（普通）1492035**（口座名義：公益社団法人砂防学会）

